

Information 1



新年！明けましておめでとうございます。

2020年も、東いわつき動物病院をよろしくお願いいたします♪

今年の干支は、十二支廻って1番目の年

“子年”ということで子年の雑学集めてみました。

子(ね) とは：「ふえる」という意味で、新しい生命が種子の中に
萌（きざ）し始める状態を表しているとされる

「子」をさらに詳しく言うと、「庚子」です。

これは、「かのえね」、または「こうし」と読みます。

(年を数える十二支のほか、日を数えるための十干という数詞があります。)



2020年の十二支『子年』にこめられた意味

✓新しい運気のサイクルの始まり。

(植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期)

✓『ねずみ』は【ねずみ算】という言葉があるほどこどもを
どんどん産んで数を増やしていくことから

”子孫繁栄”の象徴でもあります。

十二支に猫年がない理由

お釈迦様が「元日の朝に私の元に一番早く来たものから順に十
二番目までの動物を一年交代でその年の守り神にする」

というおふれを出しました。

猫がねずみにこのおふれの日をちを確認したところ

ねずみは一日遅れた日を教えてしまいました。

猫は教えられた日に行きましたが時すでに遅しで

十二支には入れませんでした。



科目：ネズミ目(齧歯目)

形態・生態：基本**夜行性**です。日没直後と明け方直前の2回です。

ねずみの前歯は一生伸び続けるという齧歯類の特徴を
持っているため常に何か硬いものをかじって前歯を
すり減らす習性があります。

世界中のあらゆる場所に生息している。

ねずみ上科のほとんどの種が丸い耳、とがった鼻先、長い尻尾
といった、よく似た外観上の特徴をもち、外観から種を
見分けることは難しい。このため、頭骨や歯によって
識別がなされている。

食性：**雑食性**で何でも食べます。

人が食べるものはもちろん、ペットフードなど…

水分補給のために観葉植物の葉を食べてしまうこともあります。

繁殖能力：ねずみの繁殖能力は高いと知られています。

いわゆる「ねずみ算」という言葉の語源になったように、
多産で成長が速く、繁殖期も1年を通じてあるため、
非常なスピードで数が増えていきます。



今年もオーナー様、動物さんたちの
心に寄り添えるよう精一杯努めてまいりますので
よろしくお願い致します。

